

病理診断科

1. スタッフ (2020年4月1日現在)

科 長 (教 授) 福嶋 敬宜
副 科 長 (准教授) 河田 浩敏
シニアレジデント 4名

2. 病理診断科の特徴

病理診断部は、自治医科大学附属病院および関連病院に来院された方々が、適切でレベルの高い医療を受けられるよう、組織診、細胞診、剖検を含めた病理学的な検討を行って、その診断情報を臨床担当科にお伝えすることを主な業務としている。

2014年4月から、「病理診断科」の標榜に伴い、自治医科大学病院に入院中の患者からの要望に応じて、病理専門医が、病変の組織像を説明し、病理診断の疑問に答える「病理診断説明外来」を開設した。

病理診断科のスタッフは現在2名であるが、この説明外来は病理診断部との密接な情報共有により行うものである。

新館南棟1階の病理診断部内にカンファレンスルームとの兼用で病理診断説明外来を行えるスペースが確保されたが、診療報酬がつかないという問題もあり、未だ積極的な病理説明外来の実施に至っていない。

3. 実績・クリニカルインディケーター

1) 病理診断外来件数の動向：

「病理診断説明外来」は、人員、場所の都合なども有り、2019年度も引き続き最小限の対応とした。

2) 部門統計 (2018年)

■病理診断説明外来 0件
収益につながる事業ではないため、今後、診療各科からの要望なども聞きながら、どの程度の体制を取っていくかは、引き続き課題である。

※以下、病理診断部実績 (参考) (2019年)

■病理組織診断件数： 15,522件
生 検 11,284件
内視鏡 4,338件
手 術 3,739件
借 用 479件
標本ブロック数 65,337個
ヘマトキシリン・エオジン標本 84,666枚
組織化学染色 3,853枚
■迅速診断：944件
ブロック (検体) 数 1,776個
■細胞診件数： 15,116件、36,512枚

パパニコロー染色 30,377枚
特殊染色 5,956枚
<検体別の件数>
婦人科関連 7,768件
呼吸器 1,529件
泌尿器 1,540件
甲状腺 325件
乳腺 177件
消化器 737件
(EUS-FNA 142件)
リンパ節 263件
体腔液 2,336件
他 441件
セルブロック 206件
■電子顕微鏡検索： 309件
(本院 207件、さいたま 102件)
■免疫組織化学染色： 3,340件
Her2蛋白検査件数： 508件
ER&PR： 491件
■蛍光抗体法検索： 162件
■EBER1検索： 333件
■FISH法検索： 104件
■病理解剖診断： 22件

3) 病理診断精度管理について：

(参照：病理診断部実績)

4) 臨床病理カンファレンス

(参照：病理診断部実績)

5) キャンサーボード

臨床各科からの要望に応じて随時出席している。

4. 2020年の目標・事業計画等

1) 継続的業務への取り組み

病理診断説明外来事業は、保険診療の枠外であり、収益が見込める事業ではないが、人員配置や診療各科からの要望なども聞きながら、病理説明外来の実施に向けて引き続き検討していきたい。

※病理診断科の業務は病理診断部の業務に直結しており、その詳細は病理診断部の項を参照頂きたい。また、下記ウェブサイトでも多くの情報を公開している。

病理診断部／病理診断科 連絡先：

電話 0285-58-7186、Fax 0285-44-8467

ウェブサイト：<http://www.jichi.ac.jp/pathology/>